



平成20年10月21日

各 位

会 社 名 鹿 島 建 設 株 式 会 社
 代 表 者 代表取締役社長 中村 満義
 (コード番号 1812 東証・大証・名証各第1部)
 問 合 せ 先 執行役員財務本部主計部長 高野 博信
 (TEL. 03-5544-1111 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月15日の決算発表時に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月15日)	870,000	6,000	9,000	5,000	4円92銭
今回修正予想(B)	938,000	11,000	11,000	6,000	5円91銭
増減額(B-A)	68,000	5,000	2,000	1,000	
増減率(%)	7.8%	83.3%	22.2%	20.0%	
(ご参考) 前期第2四半期実績	815,133	5,492	15,464	24,855	23円65銭

(2) 平成21年3月期通期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月15日)	1,890,000	34,000	38,000	25,000	24円61銭
今回修正予想(B)	1,960,000	18,500	20,000	12,000	11円81銭
増減額(B-A)	70,000	△15,500	△18,000	△13,000	
増減率(%)	3.7%	△45.6%	△47.4%	△52.0%	
(ご参考) 前期実績	1,894,187	18,239	29,610	42,162	40円53銭

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月15日)	630,000	2,000	3,000	0	0円00銭
今回修正予想(B)	716,300	5,500	8,400	3,700	3円63銭
増減額(B-A)	86,300	3,500	5,400	3,700	
増減率(%)	13.7%	175.0%	180.0%	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績	598,130	1,539	6,770	2,048	1円94銭

(2) 平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月15日)	1,370,000	21,000	22,000	8,000	7円84銭
今回修正予想(B)	1,460,000	8,000	10,000	1,000	0円98銭
増減額(B-A)	90,000	△13,000	△12,000	△7,000	
増減率(%)	6.6%	△61.9%	△54.5%	△87.5%	
(ご参考) 前期実績	1,423,143	4,642	5,163	5,870	5円62銭

3. 修正の理由

(1) 平成21年3月期第2四半期累計期間

一部大型工事における追加・変更交渉の難航や資材価格の高騰等により、当社建設事業の採算見通しが悪化し、また、海外子会社において為替差損が発生するものの、当社開発事業において大型物件の引渡しが前倒しとなったこと等により、連結・個別ともに平成20年5月15日発表の予想値を上回る見込みであります。

なお、国内子会社における不適切な取引に伴う損失処理（下記4.参照）として、3,780百万円を計上しております。

(2) 平成21年3月期通期

上記のとおり、当社建設事業の採算見通しの悪化に加え、世界的な金融不安・不動産市況の低迷の中、海外子会社における開発物件の売却時期を見直したこと等により、誠に遺憾ながら連結および個別の通期業績予想を大幅に下方修正することといたしました。

当社グループといたしましては、採算重視・リスク管理の徹底のもと、業績回復に向けた取り組みを継続実施することにより、競争力を強化し収益力を高めてまいります。

4. 「子会社の不適切な取引」に関する損失額について

先に公表（平成20年9月5日）した時点で見込んでいた当社グループ業績（利益）への影響額は、概算で約70億円でありましたが、その後調査を実施した結果、損失額は6,912百万円であることが判明いたしました。

そのうち、平成21年3月期第2四半期累計期間並びに通期業績への影響額は、売上総利益で34百万円、特別損失で3,745百万円となりました。なお、過去の決算への影響額は3,132百万円であります。

なお、上記過去の決算の影響額は、前表の（ご参考）前期第2四半期実績および前期実績には反映しておりません。

本日、本開示と同時に「子会社の不適切な取引に関する調査結果について」（別紙①「社内調査委員会報告書」、別紙②「社外調査委員会報告書」）を開示しておりますので、詳細につきましてはこちらをご参照下さい。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上